

算数科（2年）シラバス

☆ 教科の目標

数量や図形についての算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考える能力を育てるとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活に生かそうとする態度を育てます。

☆ 第2学年の到達目標

具体物を用いた活動などを通して数についての感覚を豊かにし、数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解を深め、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して長さの単位や測定について理解できるようにし量の大きさについての感覚を豊かにします。

具体物を用いた活動などを通して図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。

☆ 学習の予定(全155時間)

月	学習すること
4	ひょうとグラフ
5	1000までの数（3けたの数） たし算のひっ算（2けたのたし算）
6	ひき算のひっ算（2位数） いろいろな形（平面図）
7	とけい（時刻の読み方・表し方）
9	たし算とひき算 長さ（cm, mm）
10	かけ算（かけ算の表し方）
11	かけ算(九九の利用)
12	かけ算(九九のきまり)
1	長さ（m） 1000より大きい数
2	（1万の位の数）
3	三角形と四角形 たし算とひき算 2年のまとめ

☆ 評価について

算数科では、次の4つの観点で評価します。

① 算数への関心・意欲・態度

「数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。」

→授業での様子、発表、ノート等

② 数学的な考え方

「算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。」

→授業での様子、単元テスト（数学的な考え方）、発表、ノート等

③ 数量や図形についての表現・処理

「整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。」

→授業での様子、単元テスト（表現・処理）、プリント、ノート等

④ 数量や図形についての知識・理解

「数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。」

→授業での様子、単元テスト（知識・理解）、プリント、発表、ノート等